

小瀬川河川整備アドバイザー会議 公開規定（案）

（目的）

第１条 本規定は、小瀬川河川整備アドバイザー会議（以下「会議」という。）規約第６条に基づき、会議の公開方法等を定めるものである。

（会議開催の周知）

第２条 会議の開催については、記者発表を行うとともに、国土交通省中国地方整備局及び太田川河川事務所ホームページ（以下「ＨＰ」という。）により一般に周知する。

（会議の公開）

第３条 会議は原則公開とし、傍聴に必要な事項は別途定める。

- ２ 会議で委員に配布される資料は、貴重な生物種の存在状況を示す資料など、公開することが適切でないものを除き、原則としてすべての資料を公表する。
- ３ 事務局は懇談会終了後速やかに議事録を作成し、発言者に確認後、ＨＰにて公表する。

（その他）

第４条 この規定の変更やこの規定に定め無き事項については、会議で定める。

附則

（施行期日）

この規定は令和２年２月１９日から施行する。

一部改正、令和６年１０月１６日

小瀬川河川整備アドバイザー会議 傍聴規定

（目的）

第1条 本規定は、小瀬川河川整備アドバイザー会議（以下「会議」という。）の運営に関し、議事を円滑に進めるため、傍聴に必要な事項について定めるものである。

（受付）

第2条 事務局は傍聴人受付を設置するものとし、傍聴を希望する者は傍聴人受付にて住所（居住地の市、又は町名）および氏名を記入するものとする。なお、受付は先着順とし、人数は傍聴席の数までとする。

（入室）

第3条 傍聴人受付で受付を終了した者（以下「傍聴人」という。）の会場への入室は、会議開始予定時刻の10分前とし、会議開始後の入退室は認めない。
なお、受付を終了していない者の入室は認めない。

（会議の傍聴）

第4条 傍聴人は、以下の事項を遵守するものとする。

- ① 会議の撮影、録画をしてはならない。
- ② 会議の録音をしてはならない。
- ③ 発言、私語、談論等を行ってはならない。
- ④ 傍聴者は所定の用紙により意見等を提出することができる。
- ⑤ 発言への批判、可否の表明、ヤジ、拍手等を行ってはならない。
- ⑥ プラカードを掲げる等の行為や、はちまき、腕章の類をしてはならない。
- ⑦ ビラ等の配付を行ってはならない。
- ⑧ みだりに傍聴者席を離れてはならない。
- ⑨ 携帯電話は電源を切るか、マナーモードにし、使用してはならない。
- ⑩ 前項のほか会議の進行を妨げたり、会場の秩序を乱す行為をしてはならない。

（退室等の措置）

第5条 委員長は、傍聴人が前項の規定に違反した場合には、傍聴人に会議会場より退室を命じることができるとともに、事務局に必要な措置を行うよう命じることができる。

（その他）

第6条 この規定の変更やこの規定に定め無き事項については、会議で定める。

附則

（施行期日）

この規定は令和2年2月19日から施行する。